



東海道
五拾三次
之内
日本橋



歌川広重展

-東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界-

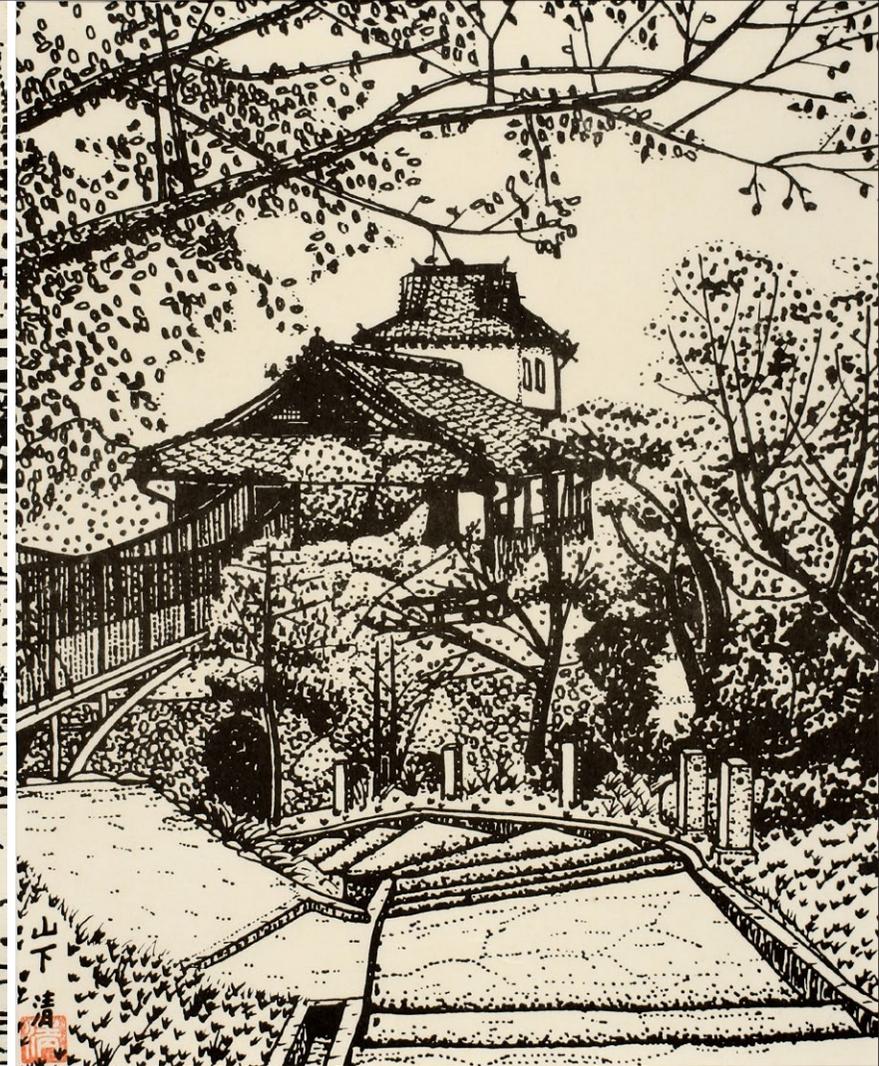
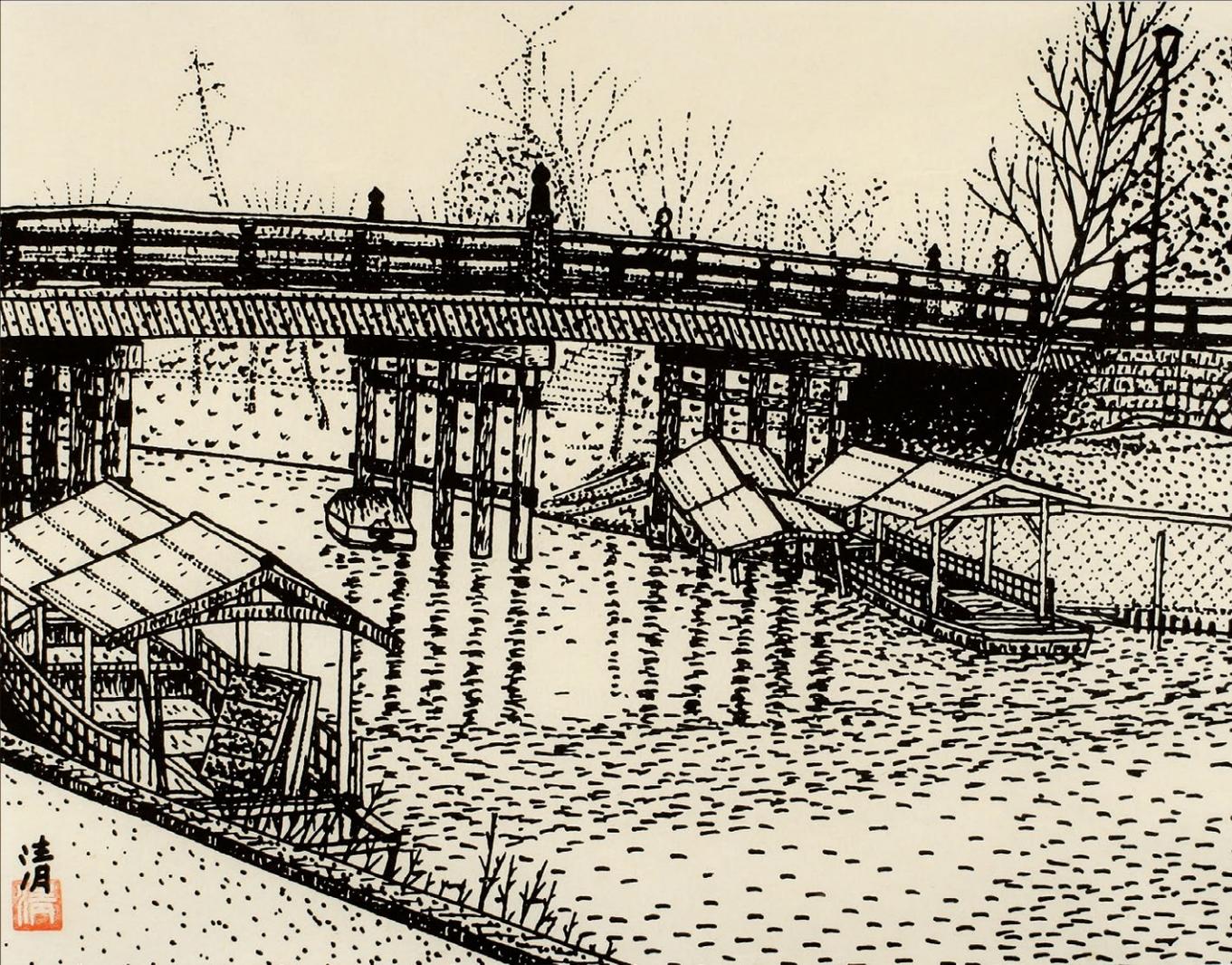
UTAGAWA HIROSHIGE -Fifty-three Stations of the Tōkaidō and Setsugetsuka Lyrical world-

2020
7.4(土)-8.30(日)

開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日：月曜日(8/10は開館)
入館料：一般 1,000円 / 高大生 600円 / 中学生以下無料※ただし保護者の同伴が必要
○専門・専修学校は大学に準じる ○障害者手帳をお持ちの方(要提示)、付添者(1名様のみ)は無料

主催：佐川美術館 [公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団]
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会、BBCびわ湖放送
監修：中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)
企画協力：株式会社ステップ・イースト
協力：SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業時間および休館日を変更している場合がございます。
ご来館前にホームページでご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM



山下清の東海道五十三次

“Fifty-three Stations of the Tōkaidō by YAMASHITA KIYOSHI”

2020
7.4(土)-8.30(日)

開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(8/10は開館)

入館料：一般 1,000円 / 高大生 600円 / 中学生以下無料※ただし保護者の同伴が必要

○専門・専修学校は大学に準じる ○障害者手帳をお持ちの方(要提示)、付添者(1名様のみ)は無料

主催：佐川美術館 [公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団]
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会、BBCびわ湖放送
特別協力：山下清作品管理事務局
企画協力：株式会社ステップ・イースト
協力：SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、営業時間および休館日を変更している場合がございます。
ご来館前にホームページでご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM

歌川広重展

-東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界-

UTAGAWA HIROSHIGE
-Fifty-three Stations of the Tōkaidō and
Setsugetsuka Lyrical world-

浮世絵風景画でその名を馳せた歌川広重(1797-1858)。広重の手がけた名所絵や道中絵といった風景画は、単にその土地の風景を描いたものではなく、人々の暮らし、移りゆく四季折々の自然や風物を詩情豊かに謳いあげています。そこには自然の風景、橋や茶屋などの建造物だけでなく、大名行列や行商・旅人といった、人々の営みも描かれ、日本各地をめぐる旅の楽しさが見る者に伝わります。広重が“漂泊の詩人”とも評される所以です。

また、印象派をはじめとする西洋の画家たちにも影響を与え、広重の作品が模写されることもありました。広重は言わば、世界を魅了した浮世絵師なのです。

本展では、名作《東海道五拾三次》(保永堂版)などの風景画はもちろん、花鳥画、戯画、さらには卓抜した描写力をうかがわせる肉筆画に至るまで様々なジャンルを通して、広重の浮世絵ワールドを紹介します。



《東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪》大判錦絵 1833年頃



《忠臣蔵 十一段目 夜討 引取》
大判錦絵 1830-44年



《官女図》絹本着色 1848-54年頃



1 いわずと知れた名作 —東海道五拾三次

東海道とは江戸の日本橋と京都の三条大橋を結ぶ主要な交通路で、街道には参勤交代の行列や伊勢詣の旅人など人々の往来が多く、宿場町は賑わいを見せていました。その光景を描いたものが《東海道五拾三次》です。東海道筋の自然と旅の風物が叙情的に描かれ、当時の庶民たちの旅への憧れをかきたてたことでしょう。



《東海道五拾三次之内 庄野 白雨》大判錦絵 1833年頃

名所対決！ 風景画の決定版



《名所江戸百景 亀戸梅屋舗》1857年

2 風景画の集大成 —名所江戸百景

広重最晩年の作であり、死の直前まで制作が続けられたのが本シリーズ作。江戸の市中と郊外の景観を主題としたシリーズ作で、19世紀のヨーロッパでも受け入れられ、印象派や後期印象派の画家に影響を与えた浮世絵版画としても知られています。近景を極端にクローズアップさせたり、画面の枠からはみ出させたりする大胆な手法で遠近感を強調しているのが特徴。

3 絵師の超絶技巧 —肉筆浮世絵

絵師が下絵のみ手がけた版画とは異なり、肉筆浮世絵は絵師自ら筆を執り、精緻な色遣いや微妙な濃淡の使い分け、荒々しいかすれの表現が可能な一点ものの貴重な作品です。版画とは違う流麗な筆致は、絵師の息遣いすら感じさせ、彼らの意思が余すところなく反映されているのです。



浮世絵版画とは？

浮世絵は浮世(現世)に存在するものを描いた絵です。私たちの身の周りに存在するものを描いたものが言わば浮世絵のはじまりです。

版画というように浮世絵師による下絵(版下絵)、それをもとに彫師が版木を彫り、摺師がバレンで摺って完成させる完全分業制でした。分業で作業を進めることにより、大量生産を可能にし、当時の絵草子屋(浮世絵などを販売するお店)で、約20文(当時のかけそば1杯分)の値段で販売されていました。今でいう写真集やプロマイドのようなもので、庶民でも気軽に求めることができました。





《近江八景之内 堅田落雁》 大判錦絵 1834-35年頃

4 近江の絶景かな — 近江八景シリーズ



「近江八景」は中国の「瀟湘八景」になぞらえて定められた琵琶湖の八つの景勝地で、古くより詩歌や絵画、工芸の題材とされてきました。広重は二十種類以上の近江八景シリーズを描いており、雨や雪などの自然の気候変化や時間によって移り変わる近江の風景を、画面にゆったりと描いています。



歌川広重 (1797~1858)

いわずと知れた浮世絵風景画の名手。本姓は安藤。俗称は徳太郎。定火消・安藤家の子として八代洲河岸に生まれました。13歳の時に家督を継ぐものの、当時版本の挿絵を数多く手がけていた浮世絵師・歌川豊広(1774-1830)に入門。修行の末、1832年に京都へ旅行をし、その時のスケッチをもとに、2年後出世となる《東海道五拾三次》を発表し、人気絵師の地位を確立しました。以来、江戸の名所のみならず、富士山や風光明媚な全国各地を描き続けました。1858年当時流行していたコレラを患い、急死。享年62歳。



①	②
③	

表面作品

- ① 《東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景》 大判錦絵 1833年頃
- ② 《名所江戸百景 水道橋駿河台》 大判錦絵 1857年
- ③ 《近江八景之内 瀬田夕照》 大判錦絵 1834-35年頃

同時開催

山下清の東海道五十三次

“Fifty-three Stations of the Tōkaidō by YAMASHITA KIYOSHI”

「放浪の画家」として親しまれ、多くの人々に愛されてきた山下清(1922-1971)。18歳を迎えた頃から放浪の旅が始まり、旅先でみた風景は無意識のうちに自らの脳裏に焼き付けられ、旅から戻ると、記憶をもとに作品を手がけたといいます。

代名詞ともいえる貼絵作品が次第に国内で高い評価を受けるようになった山下がいつまでも世に残る大作にしたいという想いで描いた作品が《東海道五十三次》です。

制作にあたり「ゆっくり旅ができるのならやってもいいな」と思い立った山下は、東京を皮切りに京都までの旅を約5年間続け、何度も訪れた東海道各地の思い出や感想を語りながら、デッサンとは思えないほど完成度の高い作品を次々に仕上げました。山下のフィルターを通して描かれた温かな景色は、どこか懐かしい気持ちを彷彿させる日本の原風景を思い起こさせます。

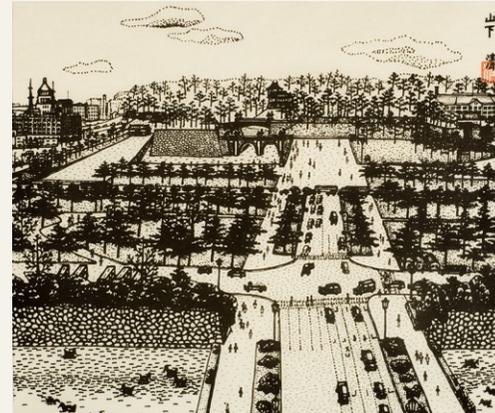
本展では山下の旅への想いが込められた遺作《東海道五十三次》の全場面をご紹介します。人情味あふれる山下の作品がもつ魅力に迫ります。



《富士(吉原)》



《三条大橋(京都)》



《皇居前広場(東京)》



④	⑤
---	---

表面作品

- ④ 《瀬田の唐橋(大津)》
- ⑤ 《小さな城(掛川)》

※作品はすべて制作年不詳
※画像は全て ©清美社

歌川広重展では音声ガイドを利用してお楽しみいただけます。

音声ガイド

貸出料金：1台 600円(税込)
ガイド制作：(株)カセットミュージアム

歌川広重展の音声ガイドナビゲーターは、咄家の春風亭昇々さん



春風亭昇太の一門である春風亭昇々さん。江戸情緒豊かな広重の浮世絵ワールドをご案内させていただきます。わかりやすく、ユーモアあふれる作品解説をお楽しみください。



【お車ご利用の場合】

- 駐車場有70台、美術館入館者は駐車料無料
- 名神栗東ICから 約30分
- 名神京都東ICから、湖西道路真野出口・琵琶湖大橋経由 約30分
- 名神瀬田西ICから 約30分

【鉄道・バスご利用の場合】

- JR守山駅から バス約35分 「佐川美術館」下車
- JR堅田駅から バス約15分 「佐川美術館」下車

[Opening hours] 9:30 a.m. - 5:00 p.m.
(Entry to exhibition until 4:30 p.m.)
[Closed] Mondays
(open if Monday is a public holiday), August. 10
[Admission] General: ¥1,000 /
University and senior high school students: ¥600 /
Junior high school students and younger: Free
*When accompanied by an adult

- Junior colleges/vocational schools are equivalent to university
- Patrons with a disability (disability card must be presented) and attendants (one attendant per patron) admitted free
- Groups (20 or more): ¥200 discount per person

2891 Kitagawa, Mizuho-cho, Moriyama-shi, Shiga 524-0102 JAPAN
Tel 077-585-7800 Fax 077-585-7810

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891
Tel:077-585-7800 Fax:077-585-7810

佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM